

外貨投資の視点 (No.301)

リサーチ部 チーフ為替ストラテジスト 植野 大作

2016年10月11日

英国ポンド:EUから強硬離脱なら「ダブル・パリティー」へ接近か

ポイント

- 先週末にポンドドルが「謎の急落」を演じたが、怪しげな需給トークに撃墜されること自体が地合いの弱さを象徴
- 来年春先以降に本格化する英国とEUの離脱交渉は難航必至とみられ、ポンド相場に長期的な下落懸念が台頭
- 通貨ペア別にみると、「ポンドドル」より「ユーロポンド」の方が早く「パリティー」に早く到達する可能性には要注意

ポンドドル相場を突如襲った「謎の急落」

ポンドドル相場の不安定感が増している。10月7日(金)の日本時間8:07過ぎには約2分間で▲759ポイントも急落、一時1ポンド=1,184ドルと1985年3月以来の安値圏に突入する場面があった。唐突な急落劇の背景は定かではないが、「東京朝方の薄商いの時間帯を狙った投機的なポンド売り仕掛け、あるいは『ファット・フィンガー』による誤発注などが引き金になって高速プログラム売買が稼働したのではないか」などと噂されている。その後は流石に買い戻されたが、急落前の水準には戻り切れず、「約31年ぶり安値圏」での冴えない展開が続いている。

英国中銀は原因調査に乗り出したが、「犯人探し」に成功してもポンド相場は安定しない

こうした事態を受け、英国中銀(BOE)は、ポンド急落の原因調査に乗り出すようだ。だが、たとえ「犯人探し」に成功しても、ポンド相場安定の手助けにはならないだろう。古今東西、為替市場では「背景の分からない乱高下」に巻き込まれる通貨ペアは折に触れて散見されるが、大抵の場合、当該時点における相場の趨勢を支配している気の流れと同じ方向に「事件」や「事故」は起きやすい。誰も売っていないのに暴落する通貨はこの世に存在しない。たった2分間で約▲6.02%も急落した訳だから、その瞬間には「誰か」がポンドドルを売っていたに決まっている。「真贋不明の怪しげな需給トークに巻き込まれて急落した」という事実そのものが、最近のポンド相場の地合いの弱さを象徴している。

欧州連合(EU)からの「ハード・ブレグジット」懸念がポンド相場の重石に

ポンド売り圧力が再燃している基本的な背景には、英国による欧州連合(EU)からの「ハード・ブレグジット(強硬離脱)」に対する懸念がある。英国のメイ首相は10月2日(日)の保守党大会で演説し、「来年3月までEUに離脱を正式通告する」方針を表明した。英国政府による正式な離脱通告の後、原則2年間の期限が設けられて「離脱後の関係」を巡る条件交渉が始まるが、英国政府は「厳格な移民制限」を最優先に掲げる姿勢を鮮明にしている。対して、フランスやドイツなどのEUコア国は、「人の移動の自由」という欧州統合の基本理念を認めない国には、単一市場内での無関税での貿易取引(関税同盟)や、域内全域で利用できる金融免許(金融パスポート)などによる自由なアクセスを認めない方針であると伝えられている。

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

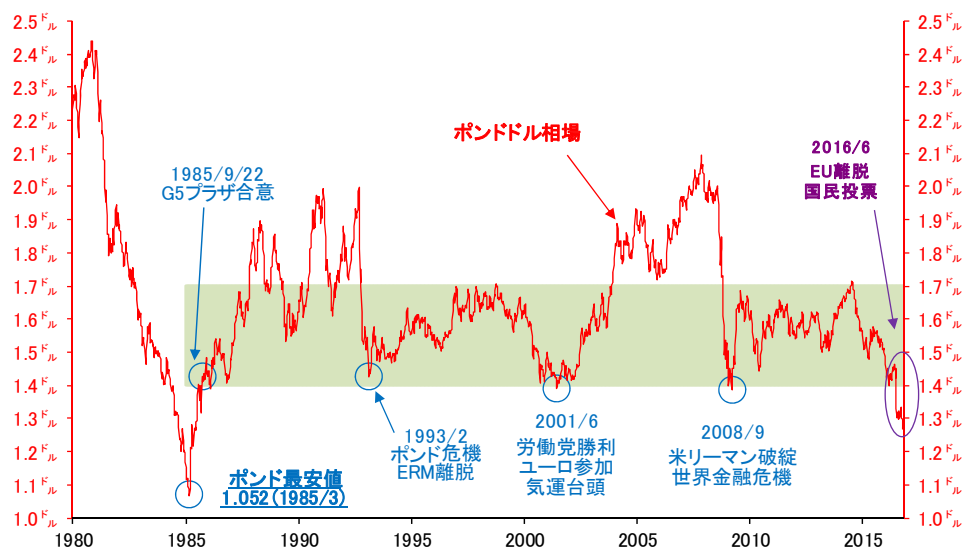
英国とEUの離脱協議は難航必至で、英経済への悪影響は「リアルな懸念」へ変貌か

来春にも始まる両者の離脱協議は恐らく難航を極めるだろう。もしも双方がお互いの主張を曲げず、交渉が平行線のまま時間切れの物別れに終わった場合、英国とEUの双方が無視することのできない経済的な打撃を受ける懸念が現実味を帯びてくる。「来年年明けの離脱通告から2年間」という限られた交渉期限内で政治的妥協が上手くまとまるとみている専門家は少ない。今後、英国政府の正式な離脱通告で「Xデー」までのカウントダウン・タイマーが実際に動き始めれば、6月の英国国民投票で「EU離脱」の民意が示されただけの段階では単なる「心理的ショック」の範疇に収まっていた英国経済への悪影響が、具体的なイメージを伴う「リアルな懸念」へと、ゆっくりとだが着実に変貌し始めるだろう。

英国からの資本流出、英国内での投資低迷などに加え、スコットランド独立騒動が再燃する懸念も

英国がEU単一市場へのアクセスを失う可能性が現実味を帯びてくれば、既に多くの有識者が指摘しているように、現在英国内に拠点を置いている多国籍企業のビジネス拠点が国外に逃げていくだけでなく、英国系の企業による国内投資や求人などにも下押し圧力がかかる可能性が意識されている。先の英国国民投票で「EU残留派」が多かったスコットランドでは、2014年にいったん否決された「イギリスからの分離・独立」の是非を問う住民投票のやり直しを実施するために必要な法案整備が始まっているようだ。もしもスコットランドに独立されたら、英国は国土面積と人口のかかなりの部分や北海油田の一部権益も失うリスクに晒されることが懸念されている。

図1: ポンドドル相場の長期推移



出所: ブルームバークより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

ポンドドル相場が変動相場制史上の最安値を下抜けすれば、「パリティー」到達の可能性も

そのような悪条件が重なった場合、英国からの対外直接投資の純流出が加速する中で、既に過去最高水準にある経常収支の赤字も一段と拡大、英国ポンドを取り巻く為替需給環境は悪化するだろう。6月の国民投票でEU離脱が決まった後、ポンドドル相場は1985年のプラザ合意以降の「鉄板のフロアー」と言われていた「1ポンド=1.40ドル前後の下値抵抗帯」を一気に突破したが、テクニカル的には過去最安値の1ポンド=1.0520ドルに至るまで、メジャーな「心理的な節目」になりそうな抵抗帯はもう残っていない(図1)。短期売買筋によるポンド売り投機のポジションが一時的に巻き戻されれば、相応の自律反発

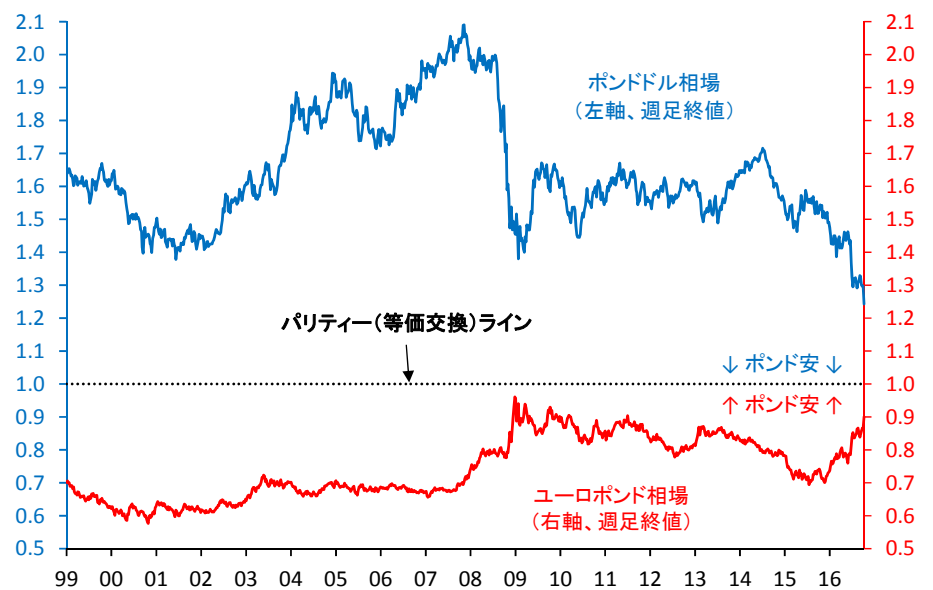
本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

が促される局面もあるだろうが、EU からの「ハード・ブレグジット」懸念が現実のものになった場合、長期的にみたポンドドル相場は史上最安値を下回る「未体験ゾーン」への突入も意識すべきかもしれない。これまでは遠いとみられていた 1 ポンド=1 ドルの「パリティ」到達も、非現実的だとは言いきれないムードが漂いつつある。

「片側ポンドの通貨ペア」では、「ユーロポンド」の「パリティ」到達の可能性も意識されつつある

このような状況の下、為替市場関係者の一部では、この先の「片側ポンドの通貨ペア」に絡んで、「ユーロポンド」のパリティ到達の可能性も意識されつつある。10月7日(金)にポンドドル相場が「謎の急落劇」に巻き込まれていたのと同様時間帯に、ユーロポンド相場は一時 1 ユーロ=0.94150 ポンドと 2009 年 3 月以来、約 7 年 7 ヶ月ぶりの高値圏(=ポンドの安値圏)に急伸する場面があった。世界最高の為替売買拠点であるロンドン市場を擁する英国は、「金融立国」のイメージが強く、来年春先以降に始まる英国と EU の離脱交渉の難航が予想される中、「英国が EU 域内の金融パスポートを失う」との懸念が嫌気されたようだ。英国が EU から離脱する場合、「出て行く英国」と「出て行かれる EU」の双方が経済的打撃を受けそうだが、両者の経済規模などを勘案すると、景気下押し圧力や国外への資本流出によって蒙る経済的悪影響はユーロ圏よりも英国の方が痛いとするのが自然である。このため、「ハード・ブレグジット」が実現した場合、ユーロポンド相場ではポンド売り圧力がかかりやすいと考えられている。

図2: ポンドドルとユーロポンドの「パリティ到達」競争



出所:ブルームバーグより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

「パリティ」への接近度合いでは、「ポンドドル」より「ユーロポンド」の方が注目されている

ちなみに、ユーロポンド相場の発足来高値(=ポンドの最安値)は、2008 年 12 月に記録した 1 ユーロ=0.98029 ポンドとまだ少し先だ。10月7日(金)の急激なユーロ買い・ポンド売りが一巡した後は 1 ユーロ=0.94150 ポンドで息切れして同 0.90 ポンド台に押し戻されたので「1 ユーロ=1 ポンド」の「パリティ到達」まで、まだ 10%弱の「のりしろ」は残っている。だが、10月7日(金)の急落局面の前後における「パリティ到達」までの距離感で比較すると(図 2)、ポンドドルは一時 1 ポンド=1.1841 ドルまで差し込んだところで切り

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

返し、現在は1.23ドル台で推移しているため、まだ20%を超える「のりしろ」が残されている。来春以降に本格化する英国とEUの離婚協議の展開次第では、「ポンドドル」よりも先に「ユーロポンド」のパリティ到達の可能性が為替市場で注目される可能性もあるだろう。

欧州通貨市場から飛んでくる流れ弾にヒットされ、ドル円相場が思わぬ乱気流に巻き込まれるリスクにも要注意

「ユーロポンド」や「ポンドスイスフラン」などの欧州通貨間のクロス・マーケットにおける為替変動は、通常ならばドル円相場には直接響いてこないことが多い。だが、例えば外国為替市場の取引金額が何らかの理由で非常に薄くなっている時間帯や、欧米市場における各種値決め前後の時間帯で市場に軽く緊張感が漂っているようなタイミングで唐突な為替相場の乱高下がヨーロッパ・クロス市場で勃発すると、欧州通貨絡みのクロス円市場やストレートドル市場を経由して飛んでくる流れ弾にヒットされて、ドル円相場も思わぬ乱気流に巻き込まれることがたまにある。英国のEU離脱交渉が難航必至とみられている中、今後の動向には細心の注意を払っておきたい

(10月11日 13:40)

Appendix A

アナリストによる証明

本レポート表紙に記載されたアナリストは、本レポートで述べられている内容（複数のアナリストが関与している場合は、それぞれのアナリストが本レポートにおいて分析している銘柄にかかる内容）が、分析対象銘柄の発行企業及びその証券に関するアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明いたします。また、当該アナリストは、過去・現在・将来にわたり、本レポート内で特定の判断もしくは見解を表明する見返りとして、直接又は間接的に報酬を一切受領しておらず、受領する予定もないことをここに証明いたします。

開示事項

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（以下「MUMSS」）は、MUMSSのリサーチ部門・他部門間の活動及び／又は情報の伝達、並びにリサーチレポート作成に関与する社員の通信・個人証券口座を監視するための適切な基本方針と手順等、組織上・管理上の制度を整備しています。

MUMSSの方針では、アナリスト、アナリスト監督下の社員、及びそれらの家族は、当該アナリストの担当カバレッジに属するいずれの企業の証券を保有することも、当該企業の、取締役、執行役又は顧問等の任務を担うことも禁じられています。また、リサーチレポート作成に関与し未公表レポートの公表日時・内容を知っている者は、当該リサーチレポートの受領対象者が当該リサーチレポートの内容に基づいて行動を起こす合理的な機会を得るまで、当該リサーチに関連する金融商品（又は全金融商品）を個人的に取引することを禁じられています。

アナリストの報酬の一部は、投資銀行業務収入を含むMUMSSの収益に基づき支払われます。

MUMSS及びその関連会社等は、本レポートに記載された会社が発行したその他の経済的持分又はその他の商品を保有することがあります。MUMSS及びその関連会社等は、それらの経済的持分又は商品についての売り又は買いのポジションを有することがあります。

MUMSS・その他MUFG関連会社、又はこれらの役員、提携者、関係者及び社員は、本レポートに言及された証券、同証券の派生商品及び本レポートに記載された企業によって発行されたその他証券を、自己の勘定もしくは他人の勘定で取引もしくは保有したり、本レポートで示された投資判断に反する取引を行ったり、マーケットメーカーとなったり、又は当該証券の発行体やその関連会社に幅広い金融サービスを提供しもしくは同サービスの提供を図ることがあります。

MUMSSの役員（以下、会社法（平成17年法律第86号）に規定する取締役、執行役、又は監査役又はこれらに準ずる者をいう）は、次の会社の役員を兼任しています：三菱UFJフィナンシャル・グループ、カブドットコム証券、三菱倉庫。

免責事項

本レポートは、MUMSSが、本レポートを受領されるMUMSS及びその関連会社等のお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買の推奨あるいは特定の証券取引の勧誘、申込みを目的としたものではありません。

本レポート内でMUMSSに言及した全ての記述は、公的に入手可能な情報のみに基づいたものです。

本レポートの作成者は、インサイダー情報を使用することはもとより、当該情報を入手することも禁じられています。MUMSSは株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「MUFG」）の子会社等であり、MUMSSの方針に基づき、MUFGについては投資判

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

断の対象としておりません。

本レポートは、MUMSS が公的に入手可能な情報のみに基づき作成されたものです。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性、信頼性が客観的に検証されているものではありません。本レポートはお客様が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。また、MUMSS 及びその関連会社等は本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、また、MUMSS は本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について当社は一切責任を負いません。

当社は、本レポートの論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する場合があります。また、MUMSS は関連会社等と完全に独立してレポートを作成しています。そのため、本レポート中の意見、見解、見通し、評価及び目標株価は、異なる情報源及び方法に基づき関連会社等が別途作成するレポートに示されるものと乖離する場合があります。

本レポートで直接あるいは間接に採り上げられている有価証券は、価格の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがあります。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本レポートにて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。お客様は、独自に特定の投資及び戦略を評価し、本レポートに記載されている証券に関して投資・取引を行う際には、専門家及びファイナンシャル・アドバイザーに法律・ビジネス・金融・税金その他についてご相談ください。

MUMSS 及びその関連会社等は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる結果のいかなるもの（直接・間接の損失、逸失利益及び損害を含むがこれらに限られない）についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家に対しても法的責任を負うものではありません。

本レポートの利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、又は保証するものではありません。特に記載のない限り、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なる場合があります。従って、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。

本レポートの利用に際しては、上記の一つ又は全ての要因あるいはその他の要因により現実的もしくは潜在的な利益相反が起こりうることをご認識ください。なお、MUMSS は、会社法第 135 条の規定により自己の勘定で MUFG 株式の売買を行うことを禁止されています。

本レポートで言及されている証券等は、いかなる地域においても、またいかなる投資家層に対しても販売可能とは限りません。本レポートの配布及び使用は、レポートの配布・発行・入手可能性・使用が法令又は規則に反する、地方・州・国やその他地域の市民・国民、居住者又はこれらの地域に所在する者もしくは法人を、対象とするものではありません。

英国及び欧州経済地域: 本レポートが英国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities EMEA plc (以下「MUS(EMEA)」。電話番号: +44-207-628-5555)により配布されます。MUS(EMEA)は、英国で登録されており、Prudential Regulation Authority (ブルーデンス規制機構、「PRA」)の認可及び Financial Conduct Authority (金融行動監視機構、以下「FCA」)と PRA の規制を受けています(FS Registration Number 124512)。本レポートは、professional client (プロ投資家)又は eligible counterparty (適格カウンターパーティー)向けに作成されたものであり、FCA 規則に定義された retail clients (リテール投資家)を対象としたものではありませんので、誤解を回避するため、同定義に該当する顧客に交付されてはならないものです。MUS(EMEA)は、本レポートを英国以外の欧州連合加盟国においても professional investors (若しくはこれと同等の投資家)に配布する場合があります。本レポートは、MUS(EMEA)の組織上・管理上の利益相反管理制度に基づいて作成されています。同制度には投資リサーチに関わる利益相反を回避する目的で、情報の遮断や個人的な取引・勧誘の制限等のガイドラインが含まれています。本レポートはルクセンブルク向けに配布することを意図したものではありません。

米国: 本レポートは Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. (以下「MUMSS」)によって作成されたものです。MUMSS は日本で証券業務の認可を取得しております。本レポートが米国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Americas Inc. (以下「MUS(USA)」。電話番号: +1-212-405-7000)により配布されます。MUS(USA)は、United States Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会)に登録された broker-dealer (ブローカー・ディーラー)であり、Financial Industry Regulatory Authority (金融取引業規制機構、「FINRA」)による規制を受けています (SEC# 8-43026; CRD# 19685)。本レポートが MUS(USA)の米国外の関連会社等により米国内へ配布される場合、本レポートの配布対象者は、1934 年米国証券取引所法の規則 15a-6 に基づく major U.S. institutional investors (主要米国機関投資家)に限定されております。本レポートは証券の売買及びその他金融商品への投資等の勧誘を目的としたものではありません。また、いかなる投資・取引についてもいかなる約束をもするものでもありません。本レポートが米国で大手機関投資家以外の個人に配布される限りにおいて、MUS(USA) は以下の条件のもとでその内容について責任を負っています。本レポートの執筆者であるアナリストは、リサーチアナリストとして FINRA への登録ないし FINRA の資格取得を行っておらず、MUS(USA)の関係者ではない場合があります。したがって、調査対象企業とのコミュニケーション、パブリックアピランス、アナリスト本人の売買口座に関する FINRA の規制に該当しない場合があります。FLOES は MUS(USA)の登録商標です。

IRS Circular 230 Disclosure (米国内国歳入庁 回示 230 に基づく開示): MUS(USA)は税金に関するアドバイスの提供は行っていません。本レポート内 (添付文書を含む)の税金に関する記述は MUS(USA)及び関連会社以外の個人・法人が本レポートにおいて研究する事項に関する勧誘・推奨を行う目的、又は米国納税義務違反による処罰を回避する目的で使用することを意図したのではなく、これらを目的とした使用を認めておりません。

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

日本: 本レポートが日本において配布される場合、その配布は MUFG のグループ会社であり、金融庁に登録された金融商品取引業者である MUMSS (電話番号: 03-6742-4550) が行います。

シンガポール: 本レポートがシンガポールにおいて配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Asia (Singapore) Limited (以下「MUS(SPR)」)。電話番号: +65-6232-7784)とのアレンジに基づき配布されます。MUS(SPR)はシンガポール政府の承認を受けた merchant bank であり、Monetary Authority of Singapore (シンガポール金融管理局)の規制を受けています。本レポートの配布対象者は、Financial Advisers Regulation の Regulation 2 に規定される institutional investors、accredited investors、expert investors に限定されます。本レポートは、これらの投資家のみによる使用を目的としており、それ以外の者に対して配布、転送、交付、頒布されてはなりません。本レポートが accredited investors 及び expert investors に配布される場合、MUS(SPR)は Financial Advisers Act の次の事項を含む一定の事項の遵守義務を免除されます。第 25 条: 一定の投資商品に関してファイナンシャル・アドバイザーが全ての重要情報を開示する義務、第 27 条: ファイナンシャル・アドバイザーが合理的な根拠に基づいて投資の推奨を行う義務、第 36 条: ファイナンシャル・アドバイザーが投資の推奨を行う証券に対して保有する権利等について開示する義務。本レポートを受領されたお客様で、本レポートから又は本レポートに関連して生じた問題にお気づきの方は、MUS(SPR)にご連絡ください。

香港: 本レポートが香港において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である MUFG Securities Asia Limited (以下「MUS(HK)」)。電話番号: +852-2860-1500)とのアレンジに基づき配布されます。MUS(HK)は Hong Kong Securities and Futures Ordinance に基づいた認可、及び Securities and Futures Commission (香港証券先物取引委員会; Central Entity Number AAA889)の規制を受けています。本レポートは Securities and Futures Ordinance により定義される professional investor を配布対象として作成されたものであり、この定義に該当しない顧客に配布されてはならないものです。

その他の地域: 本レポートがオーストラリアにおいて配布される場合、MUS(HK)又は MUS(SPR)により配布されています。MUS(HK)は Australian Securities and Investment Commission (ASIC) Class Order Exemption CO 03/1103 に基づき、Corporations Act 2001 が定める金融サービスの提供者によるオーストラリア金融業免許の保有義務を免除されています。MUS(SPR)は ASIC Class Order Exemption CO 03/1102 により同様に義務を免除されています。本レポートはオーストラリアの Corporations Act 2001 に定義される wholesale client のみを配布対象としております。本レポートがカナダにおいて配布される場合、本レポートは MUS(EMEA)又は MUS(USA)により配布されます。MUS(EMEA)および MUS(USA)は international dealer exemption の措置により次の各州において金融取引業者としての登録を免除されています: アルバータ州、ケベック州、オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州 (MUS(EMEA)のみ)。本レポートはカナダにおける National Instrument 31-103 によって定義された permitted client のみを配布対象としております。

又は本レポートは、インドネシアにおいて複製・発行・配布されてはなりません。また中国 (中華人民共和国「PRC」を意味し、PRC の香港特別行政区・マカオ特別行政区、及び台湾を除く)において、複製・発行・配布されてはなりません (ただし、PRC の適用法令に準拠する場合を除きます)。

本レポートは、米国、日本やその他の証券規制法規により配付を制限されている投資家、および個人投資家を対象にしたものではありません。

債券取引には別途手数料はかかりません。手数料相当額はお客様にご提示申し上げる価格に含まれております。

Copyright © 2016 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. All rights reserved.

本レポートは MUMSS の著作物であり、著作権法により保護されております。MUMSS の書面による事前の承諾なく、本レポートの全部もしくは一部を変更、複製・再配布し、もしくは直接的又は間接的に第三者に交付することはできません。

〒100-8127 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 2 号 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 リサーチ部

(商号) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 2336 号

(加入協会) 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。